

至心

麻生学園小学校だより
平成28年1月8日
第9号

トッポをめざせ!

高い学力 豊かな情操

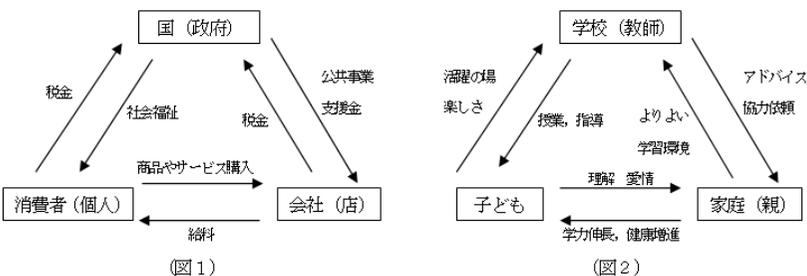
「景気」と「教育」に共通するものは…

教務部長 竹本 浩 樹

あけましておめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、新年を迎えるにあたり、どのご家庭も志新たに良いスタートを切られたことと思います。年初めの便りということで、**景気**のいい話になればと思っています。

さて、私たちは会話の中で「それは景気のいい話ですね〜」「最近、景気は回復の方向に向かっているそうですよ」というように、日常的に**景気**という言葉を使っています。景気とはいったい何でしょうか。具体的には、給料が上がったり持っている株が値上がりしたりすれば「景気がいい」状態、逆に下がれば「景気が悪い」状態ということになります。もっと具体的に説明します。政府が消費税を5%から8%に引き上げる政策を決定すると、安いうちに大きな買い物をおこなうという気になり、人は財布のひもを緩めます。日銀が0金利政策を決定すると、株価が上昇するだろうという期待感から人々（投資家）は様々な企業の株を買います。このように、あることをきっかけに世の中のお金がグルグル回るようになり、この状態を「**景気がいい**」と言っているわけです（図1）。つまり、**景気**は人の心理や行動によって大きく変動するのです。

教育にも、同じようなことが言えます（図2）。学校は親・家庭に対し、子どもをよりよく成長させたいという思いから、教育の専門家としてアドバイスをしたり協力を依頼したりします。親は我が子に対し、学力を身に付けて欲しい、心身ともに健康に育って欲しいと願います。子どもは学校に対し、自分が活躍する場を設けて欲しい、勉強を分かりやすく教えて欲しい、といった願いをもっています。一方、親は学校に対して、よりよい学習環境を整えて欲しい、集団生活を通して社会性を身に付けさせて欲しいと願います。子どもは親に対して、自分のことをもっと理解して欲しい、優しさや厳しさのバランスのとれた愛情で包んで欲しいと願っています。



この2つの図から、**経済で回るのはお金、教育で回るのは期待(願い)**だということがお分かりいただけたと思います。タイトルに掲げた共通点とは、**経済を動かすものは人の心(心理)、教育を動かすものも人の心(願い)**だということです。つまり、**景気**にとっても**教育**にとっても重要なことは、**前向きな期待感**なのです。

本年も、子どもたちの心の声に耳を傾けながら、学校と家庭が思いを一つにして教育にあたっていきたくと思っています。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

書写の学習が目指すもの

書写担当 笹 渕 隆 志

パソコンやメールの普及で身の回りに活字が溢れる生活をする中、手書きをする機会が少なくなってきました。けれども、時には手書きに迫られることもあり、そんな時には、恥ずかしい思いをしたくないという人は多いのではないのでしょうか。また、誰でも美しい文字への憧れは、持っていることと思います。書写の学習は、国語科の「言語事項」の中に位置づけられています。

「文字を正しく整えて読みやすく（中学校ではそれに加えて速く）書くことができるようになる」とこといわゆる書写能力を身につけることを目指しています。

書写の学習が目指すものは、個別の文字の完成度を高めるのではなく、あらゆる文字を正しく整えて書くことができる方法「原理・原則」を習得し、社会生活におけるさまざまな書写活動に対応できる書写能力の向上です。つまり、文字を正しく整えて書くための知識（原理・原則）を理解すること、それを踏まえてさまざまな文字を書くことで応用力を養うことを目指すことになります。

それでは、文字を書くときの原則について、いくつか紹介します。

- ① 「筆順」にはきまりがあり、正しい筆順で書くと、字形を整えやすい。「上から下へ」(三・立・気など)、「左から右へ」(川・人・林など)、「外側から内側へ」(月・円・雨など)、「突き抜ける線は最後」(中・車・年など)
- ② 点や画の間を同じくらい空けて書くと、字の形が整う。(目・川・魚など)
- ③ 「横画」がいくつか並ぶときは、一つだけ長く書くと、字の形が整う。(言・書・年・生など)
- ④ 画と画が離れるか、つくか、交わるかに気をつけて書くと、正しい字が書ける。(力と刀、右と石、土と上、八と入など)
- ⑤ 部分同士的位置や大きさの関係を意識して書くと、字形が整う。「左右」(野・加など)、「上下」(雪・童など)「三つの部分」(葉・測など)
- ⑥ 漢字を大きめに、平がなを小さめに書くと、読みやすくなる。
- ⑦ 言葉や文を書くときは、「文字の中心」を揃えると、行が整って読みやすくなる。
- ⑧ 筆記具の特徴を踏まえ、場面や目的に合わせて使い分ける必要がある。

何事もまねをすることから始まり、模倣は、習得するうえで有効な手段だと考えます。書写の学習においても「こんなふうにかきたい」という欲求は成長に必要であり、よいモデルをもつこと、目標にするものをもつことは大切です。さらに、原則を知っているか、知らないか、知っていても意識するか、しないかでは、成長力に大きく差が出ます。ですから、常に頭の中にモデル(きれいな文字の形)を記憶しておき、日常的かつ継続的に意識して書くことが重要です。

私たちの生活に不可欠な文字、いつでも自信を持って文字を書ける気持ちと力を備えておきたいものです。

1月		行事予定	2月		行事予定
1	金		1	月	委員会
2	土		2	火	
3	日		3	水	人権教室(4年)
4	月		4	木	
5	火		5	金	漢字検定
6	水		6	土	入学準備説明会(信1年)
7	木		7	日	
8	金		8	月	代表委員会
9	土		9	火	縦割りランチ(弁当)
10	日		10	水	
11	月	成人の日	11	木	建国記念の日
12	火	縦割りランチ(弁当)	12	金	数学検定
13	水	実力テスト(1~5年)	13	土	持久走大会
14	木	ウィンナー手作り体験教室(4,5年)	14	日	
15	金	柿の教室(1~4年)	15	月	スケート教室(5,6年)
16	土		16	火	
17	日		17	水	スケート教室(3,4年)
18	月	委員会	18	木	スケート教室(1,2年)-観望会(6年)
19	火		19	金	
20	水		20	土	クラブ
21	木	あかりのエコ教室(4年)	21	日	
22	金		22	月	
23	土		23	火	
24	日		24	水	
25	月		25	木	マナーランチ(6年)
26	火		26	金	大掃除
27	水	エコと太陽光発電(5年)	27	土	学習参観(感謝の会)
28	木		28	日	
29	金		29	月	
30	土	クラブ			
31	日				

行事が目白押しです!

二月に入ると検定やスケート教室など、様々な行事があります。寒い日が続きますが体調管理には十分に気をつけ、万全の状態での行事も迎えることができるようにしましょう。

※ここ数年、5、6年生はスキー教室に行っていましたが、今年はリフトの工事が入るため平日の営業は行わないということです。そのため、今年の5、6年生はスケート教室となります。来年以降は、また、可能な限りスキー教室を行う予定です。